

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [中東の歴史](#) | [中東の歴史（４）](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

中東の歴史（４）

イタリアやドイツなどの新興工業国が植民地争いに加わり、ヨーロッパ列強のあいだで植民地の境界をめぐる衝突が激化した。

ドイツ帝国の政策は、アフリカの植民地政策で仏英と、中東政策でイギリスと対立関係にあった。

ここにロシアの思惑も重なり、「英・仏・露の3国協商」対「独・伊・オーストリアの3国同盟」という複雑な対立構造が生まれていく。

オスマン帝国はヨーロッパの領土を失った不満から親ドイツの立場であった。

そんななかで突如起こったサラエボ事件をきっかけにヨーロッパで起こった戦争は、「第一次世界大戦」へと発展した。

オスマン帝国はドイツ側として参戦するが、ドイツは敗れ、オスマン帝国は崩壊した。

1919年パリ講和会議で結ばれたヴェルサイユ条約により、敗戦国は多くの領土を失った。

戦勝国のイギリスとフランスは極秘に協定を結び、中東の多くの土地を分割し植民地化していった。

第一次大戦後の各植民地では、徐々に民族主義が高まっていき、国民国家建設の為の独立運動が各地で行われるようになった。

トルコは近代化を果たし、インドでは非暴力での反英独立運動が起こる。

中東では、イギリスの矛盾外交によって、ユダヤ人によるユダヤ建国運動と、アラブ人によるアラブ国家建設が同時に起こり、パレスチナ問題へと繋がって行く。

「民族問題」「宗教問題」「石油利権問題」そして「パレスチナ問題」と、中東地域はますます複雑な様相を呈してくる。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.